

# 平成 19年 3月期 第3四半期財務・業績の概要(連結)

平成 19年 1月31日

上 場 会 社 名 株式会社 ベルーナ

(コード番号:9997 東証第一部)

(URL <http://www.belluna.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 安野 清  
責任者役職・氏名 管理本部長 大谷 賢

TEL (048) 771 - 7753

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
・法人税等の計上は簡便な方法により計算しております。  
・その他影響の僅少なものについては、一部簡便な方法により計上しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
・当連結会計年度よりベルネット クレジット カンパニー リミテッドを連結の範囲に含めております。

## 2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

### (1)経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	94,510	5.4	10,027	9.1	10,276	5.8	5,905	2.8
18年3月期第3四半期	89,705	5.6	9,187	1.5	9,715	2.7	5,747	2.3
(参考)18年3月期	121,938		11,261		12,118		6,935	

	1 株 当 たり 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	111.40		107.84	
18年3月期第3四半期	227.96		215.62	
(参考)18年3月期	274.95		258.59	

(注)①売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

②平成17年5月20日付をもって株式1株を1.1株、平成18年4月1日付をもって株式1株を2株に分割しております。

なお、1株当たり四半期(当期)純利益は、期首に分割が行われたものとして計算しております。

### (2)財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産		純 資 産		自 己 資 本 比 率		1 株 当 たり 純 資 産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
19年3月期第3四半期	139,966		63,536		45.3	1,204.54		
18年3月期第3四半期	113,271		53,896		47.6	2,148.38		
(参考)18年3月期	119,253		57,197		48.0	2,220.42		

### 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期 末 残 高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
19年3月期第3四半期	△ 9,908		△ 7,369		14,051		16,977	
18年3月期第3四半期	△ 182		△ 2,691		9,250		15,049	
(参考)18年3月期	△ 1,609		△ 1,900		14,802		19,960	

### 【参考】

19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売 上 高		経 常 利 益		当 期 純 利 益	
	百万円		百万円		百万円	
通 期	127,500		12,500		7,200	

(参考)①1株当たり予想当期純利益(通期) 136円 50銭

②上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期経営成績及び財政状態の概況(連結)

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報]

当第 3 四半期(平成 18 年 4 月 1 日から平成 18 年 12 月 31 日まで)における日本経済は、好調な輸出と設備投資に支えられて緩やかな回復を続けてきましたが、個人消費につきましては今一つ盛り上がり欠ける状況にありました。また、通信販売業界は、全体としては拡大基調にありますが、新規で参入する企業も多く、競争は厳しさを増しております。こうした中で、当社グループはポートフォリオ経営を推進すると共に、原価率の低減に取り組みました。

その結果、当第 3 四半期の売上高は前年同期比 5.4%増の 94,510 百万円、営業利益は前年同期比 9.1%増の 10,027 百万円、経常利益は前年同期比 5.8%増の 10,276 百万円、第 3 四半期純利益は前年同期比 2.8%増の 5,905 百万円となりました。

### セグメント別の概況(売上高)

#### (1) カタログ事業

「身の回り品」の売上が低迷した反面、「衣料」と「家庭用品」が堅調に推移したことで、前年同期比 4.9%増の 60,286 百万円となりました。

#### (2) 単品通販事業

グルメ事業が着実に売上を伸ばしたこともあって、前年同期比 5.5%増の 21,686 百万円となりました。

#### (3) アドバンスド・ファイナンス事業

消費者金融事業と担保金融事業共に順調に貸付金残高を伸ばし、貸金利息収入は前年同期比 37.6%増の 6,218 百万円となりました。

#### (4) BOT 事業

他事業とのバッティングを回避するための審査強化等の影響もあって、売上高は前年同期比 9.6%減の 1,445 百万円となりました。

#### (5) カレーム事業

出店数を増やしたこともあって、前年同期比 9.1%増の 2,603 百万円となりました。

#### (6) その他の事業

卸売事業は順調に売上を伸ばしましたが、前年同期のような大口の不動産販売がなかったため、前年同期比 26.9%減の 2,443 百万円となりました。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

### 1. 財政状態の変動状況

当第 3 四半期末の総資産は前連結会計年度末と比較して 20,713 百万円増加しました。これは、営業貸付金が順調に伸びたことに加え、たな卸資産が増えたことが主な要因です。

一方、主に借入金が増えたことで、負債が前連結会計年度末と比較して 14,487 百万円増加し、純資産は利益剰余金の積増し等により、前連結会計年度末比 6,225 百万円増加しました。

## 2. キャッシュフローの状況

当第 3 四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ 2,983 百万円減少し、16,977 百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動により使用した資金は 9,908 百万円で、これは営業貸付金が増えたこと等によるものです。

### (投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動により使用した資金は 7,369 百万円で、これは主に投資有価証券と有形固定資産取得による支出があったことによるものです。なお、有形固定資産取得の主なものは、領家丸山流通システムセンターの増築です。

### (財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動により取得した資金は 14,051 百万円で、これは主に借入金の増加と新株予約権の行使があったことによるものです。

### [業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、カタログ事業が若干弱含みで推移していること、また今年度末から新たにポイント引当金を計上する必要があること等から、平成 18 年 11 月 9 日に公表しました業績予想を以下のように修正しております。

連結では、連結売上高 127,500 百万円、連結経常利益 12,500 百万円、連結当期純利益 7,200 百万円を見込んでおり、またベルーナ単独では、売上高 106,500 百万円、経常利益 7,800 百万円、当期純利益 4,600 百万円を見込んでおります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

( 単位：百万円 )

科 目	前 第 3 四 半 期 末 (平成17年12月31日)		当 第 3 四 半 期 末 (平成18年12月31日)		前連結会計年度末(参考) (平成18年3月31日)	
	金 額	構 成 比 %	金 額	構 成 比 %	金 額	構 成 比 %
( 資 産 の 部 )						
I 流 動 資 産	( 74,003 )	( 65.3 )	( 96,317 )	( 68.8 )	( 80,168 )	( 67.2 )
現 金 及 び 預 金	17,555		18,954		21,869	
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	13,603		13,747		13,811	
営 業 貸 付 金	27,508		45,158		31,204	
有 価 証 券	896		1,135		497	
た な 卸 資 産	11,973		14,515		10,610	
そ の 他	2,466		2,805		2,175	
II 固 定 資 産	( 39,268 )	( 34.7 )	( 43,648 )	( 31.2 )	( 39,084 )	( 32.8 )
有 形 固 定 資 産	( 27,490 )	( 24.3 )	( 28,773 )	( 20.6 )	( 27,514 )	( 23.1 )
無 形 固 定 資 産	( 1,273 )	( 1.1 )	( 1,547 )	( 1.1 )	( 1,281 )	( 1.1 )
投 資 そ の 他 の 資 産	( 10,504 )	( 9.3 )	( 13,327 )	( 9.5 )	( 10,288 )	( 8.6 )
資 産 合 計	113,271	100.0	139,966	100.0	119,253	100.0
( 負 債 の 部 )						
I 流 動 負 債	( 39,137 )	( 34.6 )	( 55,794 )	( 39.9 )	( 44,089 )	( 37.0 )
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	19,318		19,079		17,560	
短 期 借 入 金	8,903		21,939		11,299	
1 年 以 内 転 換 社 債	—		2,790		2,970	
未 払 費 用	6,477		8,332		7,182	
そ の 他	4,438		3,653		5,077	
II 固 定 負 債	( 20,169 )	( 17.8 )	( 20,635 )	( 14.7 )	( 17,853 )	( 14.9 )
社 債	10,000		10,000		10,000	
転 換 社 債	4,998		—		—	
長 期 借 入 金	3,695		9,699		6,597	
そ の 他	1,476		936		1,255	
負 債 合 計	59,307	52.4	76,430	54.6	61,942	51.9
(少数株主持分)						
少 数 株 主 持 分	67	( 0.0 )	—	—	113	( 0.1 )
( 資 本 の 部 )						
I 資 本 金	( 7,243 )	( 6.4 )	—	—	( 8,393 )	( 7.0 )
II 資 本 剰 余 金	( 7,640 )	( 6.7 )	—	—	( 8,789 )	( 7.4 )
III 利 益 剰 余 金	( 42,054 )	( 37.1 )	—	—	( 43,242 )	( 36.3 )
IV そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	( 776 )	( 0.7 )	—	—	( 605 )	( 0.5 )
V 為 替 換 算 調 整 勘 定	( 77 )	( 0.1 )	—	—	( 71 )	( 0.1 )
VI 自 己 株 式	( △ 3,895 )	( △ 3.4 )	—	—	( △ 3,905 )	( △ 3.3 )
資 本 合 計	53,896	47.6	—	—	57,197	48.0
負債、少数株主持分及び資本合計	113,271	100.0	—	—	119,253	100.0
( 純 資 産 の 部 )						
I 株 主 資 本	—	—	( 63,073 )	( 45.1 )	—	—
資 本 金	—		10,601		—	
資 本 剰 余 金	—		10,997		—	
利 益 剰 余 金	—		48,019		—	
自 己 株 式	—		△ 6,545		—	
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	—	—	( 326 )	( 0.2 )	—	—
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	—		△ 13		—	
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	—		223		—	
為 替 換 算 調 整 勘 定	—		116		—	
III 少 数 株 主 持 分	—	—	( 136 )	( 0.1 )	—	—
純 資 産 合 計	—	—	63,536	45.4	—	—
負債純資産合計	—	—	139,966	100.0	—	—

## 2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

期 別 科 目	前 第 3 四 半 期		当 第 3 四 半 期		前 連 結 会 計 年 度(参考)	
	〔自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日〕		〔自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日〕		〔自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
I 売 上 高	89,705	100.0	94,510	100.0	121,938	100.0
II 売 上 原 価	37,938	42.3	39,236	41.5	51,409	42.2
売 上 総 利 益	51,767	57.7	55,273	58.5	70,528	57.8
III 返 品 調 整 引 当 金 繰 延 差 額	△ 21	△ 0.0	△ 10	△ 0.0	△ 8	△ 0.0
差 引 売 上 総 利 益	51,788	57.7	55,283	58.5	70,536	57.8
IV 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	42,601	47.5	45,256	47.9	59,274	48.6
営 業 利 益	9,187	10.2	10,027	10.6	11,261	9.2
V 営 業 外 収 益	( 1,066 )	( 1.2 )	( 753 )	( 0.8 )	( 1,499 )	( 1.2 )
VI 営 業 外 費 用	( 538 )	( 0.6 )	( 505 )	( 0.5 )	( 643 )	( 0.5 )
経 常 利 益	9,715	10.8	10,276	10.9	12,118	9.9
VII 特 別 利 益	( 28 )	( 0.0 )	( 165 )	( 0.2 )	( 82 )	( 0.1 )
VIII 特 別 損 失	( 122 )	( 0.1 )	( 16 )	( 0.0 )	( 474 )	( 0.4 )
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,621	10.7	10,425	11.1	11,726	9.6
法 人 税 等	3,867	4.3	4,489	4.8	4,742	3.9
少 数 株 主 利 益	7	0.0	30	0.0	48	0.0
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	5,747	6.4	5,905	6.3	6,935	5.7

## 3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期 別 項 目	前 第 3 四 半 期	当 第 3 四 半 期	前連結会計年度(参考)
	( 自 平成17年 4月 1日 至 平成17年12月31日 )	( 自 平成18年 4月 1日 至 平成18年12月31日 )	( 自 平成17年 4月 1日 至 平成18年 3月31日 )
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	9,621	10,425	11,726
減価償却費	713	701	956
その他引当金増加額(△減少額)	△ 127	341	442
受取利息及び受取配当金	△ 385	△ 204	△ 474
支払利息	199	155	238
有価証券評価・売却益	△ 61	△ 40	△ 301
投資有価証券評価・売却損(△売却益)	5	△ 128	190
固定資産減損損失	42	-	42
売上債権の減少額	619	70	409
営業貸付金の増加額	△ 5,156	△ 12,973	△ 9,041
たな卸資産の増加額	△ 2,203	△ 3,902	△ 841
仕入債務の増加額(△減少額)	749	2,332	△ 651
その他	△ 472	△ 1,156	△ 409
(小 計)	3,544	△ 4,379	2,287
利息及び配当金の受取額	394	205	481
利息の支払額	△ 188	△ 129	△ 265
法人税等の支払額	△ 3,933	△ 5,604	△ 4,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 182	△ 9,908	△ 1,609
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 206	△ 2,206	△ 309
定期預金の払戻による収入	700	2,137	800
有価証券の取得による支出	△ 407	△ 1,703	△ 407
有価証券の売却による収入	652	1,601	816
有形固定資産の取得による支出	△ 1,471	△ 1,826	△ 1,725
有形固定資産の売却による収入	-	3	0
無形固定資産の取得による支出	△ 474	△ 380	△ 524
投資有価証券の取得による支出	△ 1,859	△ 6,162	△ 3,182
投資有価証券の売却による収入	590	1,829	2,667
貸付による支出	△ 551	△ 396	△ 561
貸付金回収による収入	40	67	45
その他	295	△ 334	479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,691	△ 7,369	△ 1,900
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額	4,817	9,578	7,213
長期借入金の借入による収入	1,500	4,806	4,600
長期借入金の返済による支出	△ 467	△ 642	△ 664
社債の償還支出	△ 5,000	-	△ 5,000
社債の発行による収入	10,000	-	10,000
新株の発行による収入	143	4,121	406
自己株式の売却による収入	0	0	0
自己株式の取得による支出	△ 1,166	△ 2,640	△ 1,175
配当金の支払額	△ 577	△ 1,172	△ 577
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,250	14,051	14,802
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	137	30	131
V 現金及び現金同等物の増減額	6,513	△ 3,195	11,424
VI 現金及び現金同等物の期首残高	8,536	19,960	8,536
VII 新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	-	212	-
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	15,049	16,977	19,960

(セグメント情報)

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)

	カタログ 事業 (百万円)	単品通販 事業 (百万円)	アドバンス ド・ファイ ンズ事業 (百万円)	BOT事業 (百万円)	カレーム 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	57,491	20,561	4,519	1,465	2,386	3,281	89,705	—	89,705
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	—	133	—	62	196	△196	—
計	57,491	20,561	4,519	1,598	2,386	3,344	89,902	△196	89,705

当第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	カタログ 事業 (百万円)	単品通販 事業 (百万円)	アドバンス ド・ファイ ンズ事業 (百万円)	BOT事業 (百万円)	カレーム 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	60,286	21,686	6,218	1,295	2,603	2,421	94,510	—	94,510
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	149	—	22	172	△172	—
計	60,286	21,686	6,218	1,445	2,603	2,443	94,682	△172	94,510

前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

	カタログ 事業 (百万円)	単品通販 事業 (百万円)	アドバンス ド・ファイ ンズ事業 (百万円)	BOT事業 (百万円)	カレーム 事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	79,028	27,820	6,134	1,839	3,254	3,861	121,938	—	121,938
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	—	312	—	72	384	△384	—
計	79,028	27,820	6,134	2,151	3,254	3,933	122,323	△384	121,938

(注) 1. 事業区分は企業集団内の事業展開を基準として区分しております。

2. 事業区分の主要な内容

- |                     |  |
|---------------------|--|
| (1) カタログ事業          | カタログによる生活関連商品の販売及び関連事業                                       |
| (2) 単品通販事業          | 食料品・化粧品・健康食品等の単品を販売している事業                                    |
| (3) アドバンスド・ファイナンス事業 | 消費者金融事業ならびに担保金融事業  |
| (4) BOT事業           | 受託業務事業[封入・同送手数料事業(他社のダイレクトメール等を当社の発送する商品またはカタログ等に同梱する事業)を含む] |
| (5) カレーム事業          | 展示販売事業   |
| (6) その他の事業          | ビル賃貸事業・卸売事業等   |

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期（自平成18年4月1日 至平成18年12月31日）

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。